

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社ディア四日市
四日市市 商工農水部 商業観光課（出資に関する事務の所管課）
- 3 事前調査日 平成20年12月15日
- 4 監査日 平成21年 1月23日
- 5 監査対象年度 平成19年度
- 6 監査対象事項 出納その他の事務
- 7 監査方法 関係帳票の整備、記帳及び証拠書類の保存は適切か、会計経理及び財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかに重点を置いて、関係帳票、証拠書類等の抽出調査及び監査調書に基づく質問等により行った。
また、市所管課に対しては、出資団体に対する指導は適切になされているかに重点を置いて、監査調書に基づく質問等により行った。

第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 平成5年3月1日
- 2 資本金及び株主一覧（平成20年3月末日現在）
 - (1) 資本金 1億円（うち四日市市31.1%出資）
 - (2) 株主一覧

四日市市	1万株	（31.1%）
独立行政法人中小企業基盤整備機構	1万株	（31.1%）
その他（335名）	12,163株	（37.8%）
- 3 役員及び社員（平成20年11月末日現在）
 - (1) 取締役 17名

代表取締役社長	増原 一真
代表取締役副社長	鈴木 主計
専務取締役	森 勉
その他取締役	14名（四日市市商工農水部長、四日市市都市整備部長ほか12名）
 - (2) 監査役 3名（四日市市会計管理者ほか2名）
 - (3) 社員 2名（嘱託2名）
- 4 事業内容
 1. 駐車場の経営及び管理運営の受託業務
 2. 中心市街地活性化に関する調査研究事業及びイベントの企画運営事業
 3. 商店街活性化を支援するための展示場及び多目的ホールなどコミュニティ施設の運営
 4. 広告宣伝及び観光案内事業
 5. 損害保険代理店業
 6. 前各号に付帯する一切の業務

5 決算の状況

平成19年度、平成18年度の比較貸借対照表及び比較損益計算書は、以下のとおりである。

(1)比較貸借対照表

(単位：円)

科 目	平成19年度	平成18年度	対前年度増減
資産の部			
流動資産	67,021,000	60,412,000	6,609,000
現金及び預金	57,139,000	50,793,000	6,346,000
営業未収入金	8,041,000	6,824,000	1,217,000
貯蔵品	1,819,000	1,556,000	263,000
前払費用	0	1,234,000	1,234,000
未収入金	20,000	3,000	17,000
固定資産	1,336,629,000	1,384,517,000	47,888,000
有形固定資産	1,328,889,000	1,377,609,000	48,720,000
建物	1,310,459,000	1,356,342,000	45,883,000
構築物	418,000	459,000	41,000
機械及び装置	17,709,000	20,444,000	2,735,000
工具器具備品	302,000	362,000	60,000
無形固定資産	11,000	11,000	0
電話加入権	11,000	11,000	0
投資その他の資産	7,727,000	6,896,000	831,000
出資金	10,000	10,000	0
差入保証金	7,717,000	6,886,000	831,000
資産合計	1,403,650,000	1,444,930,000	41,280,000
負債の部			
流動負債	69,306,000	69,215,000	91,000
1年内返済予定長期借入金	54,493,000	54,493,000	0
未払金	3,934,000	4,961,000	1,027,000
未払法人税等	950,000	948,000	2,000
未払消費税等	1,125,000	827,000	298,000
未払費用	1,173,000	1,299,000	126,000
前受金	57,000	57,000	0
預り金	7,220,000	6,452,000	768,000
賞与引当金	352,000	175,000	177,000
固定負債	1,529,648,000	1,585,050,000	55,402,000
長期借入金	1,529,648,000	1,584,141,000	54,493,000
退職給付引当金	0	909,000	909,000
負債合計	1,598,954,000	1,654,266,000	55,312,000
純資産の部			
株主資本	195,303,000	209,336,000	14,033,000
資本金	100,000,000	100,000,000	0
利益剰余金	295,303,000	309,336,000	14,033,000
その他利益剰余金	295,303,000	309,336,000	14,033,000
繰越利益剰余金	295,303,000	309,336,000	14,033,000

純資産合計	195,303,000	209,336,000	14,033,000
負債・純資産合計	1,403,650,000	1,444,930,000	41,280,000

(2)比較損益計算書

(単位：円)

科 目	平成19年度	平成18年度	対前年度増減
営業収益	140,200,000	142,702,000	2,502,000
駐車場収入	127,268,000	127,352,000	84,000
受託事業収入	12,932,000	15,350,000	2,418,000
営業費用	124,955,000	130,637,000	5,682,000
(営業利益)	15,244,000	12,065,000	3,179,000
営業外収益	112,000	26,000	86,000
受取利息及び配当金	103,000	25,000	78,000
その他	8,000	1,000	7,000
営業外費用	375,000	39,000	336,000
支払利息	375,000	39,000	336,000
(経常利益)	14,982,000	12,053,000	2,929,000
(税引前当期純利益)	14,982,000	12,053,000	2,929,000
法人税、住民税及び事業税	950,000	950,000	0
(当期純利益)	14,032,000	11,103,000	2,929,000

第3 監査結果

当法人の出納及び出納に関連する事務並びに市所管課の当法人に対する指導状況等について監査の結果、次の所見のとおり、検討及び改善等を要するものが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、改善等を要するものについては、その措置を講じるよう要望する。

なお、改善の措置を講じられたときは、遅滞なく通知されたい。

1 指摘事項

特になし

2 所見

【株式会社ディア四日市】

(1) 預金管理について

貸借対照表及び財産目録によると、流動資産の現金及び預金のうち、5,400万円余が普通預金として預けられている。預金管理については、ペイオフ対策とともに、安全性、流動性を考慮して、安全かつ有利な資金の運用方針について検討を行うこと。 【検討事項】

(2) 高度化資金の返済期間等の見直しについて

総収入額に対し、10%前後の利益を上げ、その留保資金と減価償却による内部金融資金により年間5,000万円強の資金返済につなげていることは、その経営努力の成果として評価したい。

しかし、平成21年度から再び高度化資金の通常償還が始まり、現状の経営規模に比して巨額の初期投資の借入返済金が大きな経営負担となってくる。収入規模の急拡大が望めればよいが、高度化資金の借入先である三重県等と協議し返済期間や年度返済額の見直しをさらに要求することも一案であるので検討すること。 【検討事項】

(3) 経営改善計画について

高度化資金の償還について3年間の一部猶予を受けるため、三重県に対し経営改善計画を提出しているが、経費削減や駐車場の利用促進など年度別の実行計画を確実に実施して、引き続き経営改善に努力されたい。 【努力要望事項】

(4) 市民、利用者への啓発やPRについて

平成20年度から利用促進を図るため、定期貸や24時間営業など新しいサービスを実施しているが、新しい視点からの取り組みについても検討するとともに、市民や利用者への啓発やPRに努め、地下駐車場の新規利用者の確保に努力されたい。 【努力要望事項】

【商工農水部 商業観光課】

(1) 市街地の活性化について

市街地の商業地区において火災等の被災地がコインパーキングなどに用途変更されているが、空き店舗等の現状を調査のうえ、地下駐車場の利用促進を図るため、にぎわいの創出など諸施策を検討し市街地の活性化に一層努力されたい。 【努力要望事項】

(2) 当法人の経営に対する指導、監督について

平成18年度から経費削減など経営改善への努力は認められるが、償還の一部猶予を受けている高度化資金の通常償還が平成21年度から再び始まり、厳しい状況が予想される。このような財政運営上への影響を踏まえ、駐車場の利用促進、借入金の返済計画などについて助言を行うなど指導、監督に努められたい。 【努力要望事項】